

第3次小金井市環境保全実施計画（令和7年度）

（前期：令和3～7年度、後期：令和8～12年度）

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策等の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※「完了」環境でマネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の決定及び実施報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価		
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答				
XYZ	N		XYZ-N																						
000. 計画推進の基盤づくり																									
010. 基礎1 環境教育・環境学習																									
011. 学習の場・機会の創出																									
011	1		011-1	環境講座	環境啓発事業の一部として環境講座を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	環境学習館及び倉沢泉園緑地で小学生を対象とした環境講座「小金井の地下水を学ぶ」（6人）を実施した。	気候非常事態宣言にも記載する「環境教育の充実」の一環として、地球温暖化や気候変動等の問題や水資源の大切さ学び、環境意識の醸成を図っていただけ。	A					A	A		
011	2	重複	011-2	環境フォーラム	環境をテーマに活動する様々な団体が交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う場として、環境フォーラムを開催する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年11月に小金井 宮地薬師ホール等で環境フォーラムを開催 延べ1,892人の方が参加された。	「令和7年度こがねい環境フォーラム～循環する地球の未来を教えよう～」と題して、自然と人が共生できる社会をめざすため、都市に暮らす私たちができることは何か、様々な角度から考える機会にしていたことができた。	A					A	A		
011	3	重複	011-3	野川フィールドワークの実施	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	6月7日に「野川環境フィールドワーク」として実施 延べ80人の方が参加された。	野川をフィールドワークに植物および生き物の探集・観察会、清掃活動を通じて野川流域の環境保全を考えていただけるイベントとなった。	A					A	A		
011			011-4	環境施設見学会	環境啓発事業の一環として環境関連施設の見学会を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C	令和5年度より廃止	野川グリーンセンター、メタウォーターサステナブルパークこがねい等で工場見学会を実施しているため、令和5年度より廃止とした。	C						－（その他）		
011	5		011-5	小金井市環境賞	環境活動に功績のあった市民、市内の団体または事業者を表彰する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和6年度は65作品の応募だったが、令和7年度は36作品の応募があった。	年々応募作品が増えて、作品の多様さやクオリティが向上している。環境保全に対する意識を学習館から育む機会となっている。	A					A	A		
011	6	重複	612-6	くるかみ出張講座	市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説する出張講座を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	出張講座（6回）等で啓発活動を実施。（オンラインでの学習教材等提供で対応できるようにしたが、より充実していく必要がある。）	出張講座に際し使用する教材のデジタル化により、教育委員会への提供、HP掲載による周知効果の向上を図る。	A					A	A		
011	7		011-7	小金井市まなびあい出前講座	行政、各団体、企業等の協力を得て、職員・社員が市民方へ向けて情報を提供する「小金井市まなびあい出前講座」を行う。メニューに環境、まちづくり、防災、教育等がある。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	出前講座の実施回数21回	同等	A					A	A		
011	8	重複	011-8	公民館事業	公民館事業（子ども体験講座、市民講座、成人学校等）で環境をテーマとする講座等を開催する。	公民館	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市民講座、成人学校、成人大学講座等主催講座を実施した。	環境をテーマとした講座を実施。	参加者の環境問題への意識を高めることができた。	A	参加者の環境問題への意識を高めることができた。				A	A	
011	9		011-9	環境学習の推進（環境教育資料の提供）	環境教育にかかわる資料を学校に提供する。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	東京都等が作成する資料やホームページなどを紹介	各校の教育課程にそった環境教育が推進された。	A					A	A		
011	-	-	-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、学習の場・機会の創出を行う。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
012. 若い手の創出																									
012	-	-	-	-	（「011. 学習の場・機会の創出」と概ね重複するため省略。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
020. 基礎2 環境活動																									
021. 市民協働体制の強化																									
021	1		021-1	環境市民会議との協働	環境市民会議による活動を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	補助金交付による活動の支援のほか、環境フォーラムの実行委員会と協働をしている。	環境保全に関して共有することができ、連携が図れている。	A					A	A		
21	2	重複	131-2	専門機関によるみどり調査	みどりの基本計画策定時期にあわせ、定期的に専門機関による調査を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	みどりの基本計画中間見直しのため、小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査、みどり率調査、国・東京都の緑化施策の動向等、政策動向の整理を含めたみどりを取り巻く情勢を分析を行った。	調査結果を含めた内容をまとめ、「令和7年度小金井市みどりの基本計画中間見直し報告書」として、緑地保全対策審議会での審議を重ね、成果物として市ホームページにて掲載した。	A					A	A		

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）						毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」※市内環境でマネジメントシステム、実施計画表（様式1）の特定及び環境報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）						当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）		実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答				
XYZ	N		XYZ-N																							
021	3	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たに1団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会や意見交換会も定期的に行い、新規ボランティアとサポーター同士の横のつながりを作るためにボランティア養成講座を実施した。（環境美化サポーター数（公園）317名）	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。	A					A	A		
021	4	重複	322-4	田んぼの時間	東京学芸大学がもつ休耕田をフィールドに環境市民会議（環境学習部会）が行う、代播きから収穫まで体験する活動「田んぼの時間」について、広報等の支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		年間で8回行われた活動を広報掲載等の支援を行った。	小金井市環境市民会議との共催事業であり、稲作体験等を通して市民に生物多様性や伝統文化について理解を深めていただいた。	A						A	A	
021	5	重複	521-3	環境美化サポーター制度（道路）	小金井市環境美化サポーター制度実施要綱による環境美化サポーター制度や意義向上を図る。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		団体及び個人により市道等の清掃が行われている。会員数は70名。市民との協働による環境美化活動を推進した。	引き続き、制度の周知・啓発を行っていく。	A						A	A	
021	6		021-6	こがねい市民活動団体リスト	市民活動団体の情報が掲載された「こがねい市民活動団体リスト」を更新する。	コミュニティ文化課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年12月1日に改訂版のリストを発行した。（「環境」分野登録団体11団体）	こがねい市民活動団体リストの改訂版を作成し、ネットワークづくりに寄与した。	A						A	A	
021	7		021-7	こがねい市民講師登録・紹介制度	市民の生涯学習活動を支援するため、市民講師を登録し、サークルや団体等の求めに応じて援助者として活動する制度である。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		講師派遣依頼がない		B						B	－（評価になじまない）	
021	8		021-8	社会教育関係団体	社会教育関係団体の登録充実と支援を行うとともに、市民への周知や環境を含めた学習機会への活用を図る。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		登録数 89	登録数は些少に増加	A						A	A	
021	9		021-9	環境学習の推進（講師等の紹介）	学校の環境学習活動への派遣要請に対して講師等を紹介する。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		東京都等が紹介する講師に係る情報提供	各校の教育課程にそった環境教育が推進された。	A						A	A	
021	-		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、市民協働体制の強化を図る。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
022_場・人材・情報のネットワーク化																										
022	1	重複	011-2	環境フォーラム	環境をテーマに活動する様々な団体が交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う場として、環境フォーラムを開催する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年11月に小金井 宮地楽園ホール等で環境フォーラムを開催 延べ1,892人の方が参加された。	「令和7年度こがねい環境フォーラム～連携する地球の未来を救え！～」と題して、自然と人が共生できる社会をめざすため、都市に暮らす私たちができることは何か、様々な角度から考える機会にしていたことができた。	A						A	A	
022	-		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、場・人材・情報のネットワーク化を図る。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
030_基盤3 情報発信・共有																										
031_効果的な情報発信																										
031	1		031-1	環境基本計画の普及啓発	環境基本計画の周知啓発を行う（市ホームページ、公共施設、環境フォーラム等のイベント等）。また、市民団体・教育機関等とのネットワークづくりを進め、それらを介した新たな発信方法を追求する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境市民会議へ周知を行った。 市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで概要版を配布した。	SNS等での発信を検討する。	A						A	A	
031	2	重複	031-2	「小金井環境行動指針」の活用	「小金井市環境行動指針」を活用する。（市ホームページ、環境フォーラム等のイベント 等）	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで配布した。	関心のある市民に手にとってもらえる環境を整備できた。	A						A	A	
031	3	重複	612-2	市報でのこみ減量・リサイクル特集記事	市報に「こみ減量・リサイクル特集」を掲載する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報に「こみ減量・リサイクル特集」を年3回（7月、12月、3月）掲載し、各種イベント情報や正しい分別方法の周知、こみ減量の啓発を図る。	毎年転入者が多いこと並びに季節ごとに合わせてこみに関連したトピックが多いため、繰り返し周知や啓発を行うことが必要となる。	A						A		
031	4	重複	611-1	食育ホームページ	食と環境（地産地消）について考えてもらうためのサイト「食育ホームページ」を、ボランティアからなる食育ホームページ編集委員会が作成・更新する。	健康課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		数値実績なし	小金井産の野菜を使用したレシピを季節に合わせて掲載している。	A						A	A	

体系No.			事業や取組の概要				実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価	実績（効果）に対する評価	
体系No.	実施例の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実並」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の特定及び計画進捗報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答			
XYZ	N		XYZ-N																					
031	-		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて効果的な情報発信を行う。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
032 環境情報の共有																								
032	1	重複	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報を記載した環境報告書を毎年公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和6年度版を作成・公表した。	第3次環境基本計画に合わせた改訂を実施した。	A					A	A	
032	-		-	-	（基本目標1～7の各取組について環境情報の共有を行う。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100 みどりを守り、つくり、育てる																								
110 みどりの保全																								
111 まちなかのみどりの保全																								
111	1		111-1	環境緑地・公共緑地の保全	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、環境保全緑地（環境緑地・公共緑地）の指定・保全を行う。また、奨励金以外の維持管理補助などの助成措置等、現在の補助制度の在り方を検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年度にみどりの基本計画の中間見直し評価を行い、年度中4回に渡る緑地保全対策審議会での審議の結果、令和8年度に現在の補助制度の在り方の検討を具体的にすることとした。	令和8年度に3回の緑地保全対策審議会を行い、補助制度の在り方を見直すこととした。	A					A	A	
111	2		111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定するとともに、制度について分かりやすく周知を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年度にみどりの基本計画の中間見直し評価を行い、市報及びホームページ以外の周知として、市政だよりにて周知した。（保存樹木 931本）	従前からの市報及びホームページでの周知に加え、市政だよりやイベント時のチラシ配布等により更なる情報発信に努めた。	A					A	A	
111	3	重複	111-3	生け垣造成奨励金交付制度	道路に面して新たに生け垣をつくる場合に費用の一部を助成する。制度の適用対象を拡大し、より活用しやすい制度とする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	申請に係る多い問合せ及び様式について、ホームページにて掲載内容を更新かつアップロードできるようにした。（新規造成3件）	ホームページにより効果的に情報発信に努め、例年より問合せ件数及び新規造成件数が増えた。	A					A	A	
111	4		111-4	環境配慮基準の見直し（樹木）	環境配慮基準の「1.緑を守り育てる」に関する規定を見直し、宅地開発時の既存樹木の保全割合を検討する。	環境政策課	検討	運用	検討	検討	継続	継続	継続	A	緑化指導基準の運用していく中で検討した。	既存樹木の保全は所有者及び開発事業者の負担を強いるため、慎重に検討する必要がある。	A					B	B	
111	5	重複	112-2	体験農園	農家が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■体験農園 農園数：1農園 区画数：10区画 区画面積：300㎡	体験農園では、夏作・秋作の農作物の講習会を実施し、農業者と市民との交流を深めた。	A					A	A	
111	6	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■市民農園 【市営】 農園数：7農園 区画数：286区画面積：5,577.37㎡ 【民営】 農園数：2園 区画数：107区画面積：2,704㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	都市農地の貸借の円滑化に関する法律の施行に伴い、生産緑地に市民農園開設も可能になったことから、市内農家が集まる支部別座談会でパンフレットを配布し周知を行った。	A					A	A	
111	7		111-7	みどりの実態に関する情報共有	事業者・市民にみどりの実態に関する情報を共有し、保有者に対して保全を働きかける。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	生産緑地の買い取り申請時等に保有者にみどりの保全について協力をお願いしている。	新たな支援制度などを関係部署と連携しながら、情報提供を行った。	A					A	A	
112 農地の保全・活用																								
112	1		112-1	生産緑地地区の追加指定	生産緑地法等の改正に伴う生産緑地地区の指定基準緩和を受けて、農業者に積極的に周知を行い、追加指定による生産緑地地区の増加を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	通年で追加指定に係る申請を受けていることを周知した。	生産緑地の追加指定が3件あった。	A					A	A	
112	2	重複	112-2	体験農園	農家が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■体験農園 農園数：1農園 区画数：10区画 区画面積：300㎡	体験農園では、夏作・秋作の農作物の講習会を実施し、農業者と市民との交流を深めた。	A					A	A	

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）						毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※ ※「市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の決定及び実施報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）」						当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価		
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）	A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了		左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答					
XYZ	N		XYZ-N																							
112	3	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■市民農園 【市営】 農園数：7農園 区画数：286区画 面積：5,577.37㎡ 【民営】 農園数：2園 区画数：107区画 面積：2,704㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	都市農地の貸借の円滑化に関する法律の施行に伴い、生産緑地に市民農園開設も可能になったことから、市内農家が集まる支部別座談会でパンフレットを配布し周知を行った。	A				A				
112	4		112-4	高齢者農園	高齢者農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■高齢者農園 農園数：2農園 区画数：95区画 面積：1,371.83㎡	高齢者農園の利用希望者は多く後期高齢者の利用も43.2%と全体の約4割を占めており、介護予防に繋がることが期待されるなど高齢者農園がコミュニティの形成と健康促進の役割を果たしていると評価できる。	A					A			
112	5		112-5	都市農地保全推進自治体協議会	都市農地を有する自治体で構成する都市農地保全推進自治体協議会にて、都市農地の保全・活用の調査・研究を推進する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■会議の開催：2回	都市農地の保全等への取組として、先進的な取組み事例等各自自治体と情報共有した。また、国等に対し制度見直し等の要望を行った。	A					A			
112	6		112-6	援農ボランティア	市内農家の農作業を手伝う「援農ボランティア」を養成する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■援農ボランティア事業 参加者数：6人 認定者数：4人	援農ボランティア事業では、市内の園場で6人の実習生が収穫、肥料の運搬、収穫、出荷作業などの作業を農業者から直接指導を受け、4人の実習生が認定を受けた。	A					A			
112	7		112-7	苗木無料配布	営農を支援するため、市内農家が生産する苗木の無料配布事業を実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■春の苗木：400本 ■秋の苗木：400本	小金井市民を対象に、抽選による苗木の無料配布を実施した。市内の緑化推進と苗木の苗木生産振興に寄与した。	A						A			
112	8		112-8	営農困難な都市農地の貸借を推進	「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」の施行により、意欲ある農業者や新規就業者、また、市民農園を開設したいと考える民間企業等が生産緑地を借りやすくなったことから、営農困難な生産緑地の貸借を推進し、農地の活用を図る。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■都市農地の貸借の円滑化に関する法律による農地の貸借：5件（6,803.54㎡）	農地の貸借制度について、通官周知を行ってきた結果、貸借による営農困難農地の解消に繋がった。更に、営農困難農地の解消に向け、周知、相談を継続していく。	A					A			
112	9		112-9	児童収穫体験事業	市内小学校を対象とした収穫体験事業への支援を行い、土に触れる喜びや作物収穫の感動と農業への理解を促進する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■児童収穫体験事業 参加児童数：1,507人	土にふれあい、収穫の喜び、地場産野菜を味わい、身近な農業への関心を高める機会とした。	A					A			
112	10		112-10	イベントを通じた交流機会の拡大	農業祭等のイベントを通じた魅力ある交流を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■農業祭品評会出席数 896点 ■絵画コンクール申込者数 319人 ■道草市開催回数：8回 後援回数：8回 ■親子収穫体験開催：1回 参加者：10組24人	農・商工業・観光一体となったイベント「こがねい産業まつり」を開催した。農業部門では、農家の販売ブースの設置、生卵や野菜の配布、品評会、農業絵画コンクールを実施した。 道草市では、商業・農業・介護・子育ての関係者が、地域コミュニティや賑わいを図る目的でイベントを開催し、採れたての地場産野菜等の販売や手まり体験等を通じて市民との交流や地場産の野菜等のアピールにつながった。 親子収穫体験では、市内農家が作ったイチゴを使ったパフェ作りを開催した。農業と食育への関心と地産地消へのアピールにつながった。	A					A				
112	11		112-11	地場産野菜を活用した料理講習会	一日生活教室を通じ、地場野菜を使った料理講習会を実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■料理講習会 開催回数：1回 参加人数：18人	地場産の野菜を使った料理教室を開催した。	A					A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）						毎年の進捗管理における記入欄							計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」※市内環境でマネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の指定及び進捗報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）						当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）	A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了		左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答				
XYZ	N		XYZ-N																						
112	12		112-12	学校給食地場産野菜利用促進	学校給食の地場産野菜の導入率を高めるため、栄養士と農家の打合せ等の調整について協力する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■給食提供農家園場見学：1回 ■懇談会の開催：1回	学校給食への地場産野菜の積極的な導入を図るため、市内公立小・中学校の栄養士向けに園場見学を実施した。また、給食に納品している農家、学校の栄養士、市の担当課、JAと懇談会を開催し、意見交換等を通じて地場産野菜の利用促進への理解を深めた。	A				A	A		
112	13		112-13	環境保全型農業の推進	東京都エコ農産物認証制度を利用し、減農薬と減化学肥料に取り組む。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■エコ認証 0件	窓口にてチラシを配架。認証を受けた農家はいなかった。	A				A	A		
120. みどりの創出																									
121. 公園・緑地の創出・活用																									
121	1		121-1	公園等の適切な維持管理	児童遊園・子供広場・緑地・都市公園の維持管理を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		多様化する住民要望に応えるために、指定管理者と連携し、土日祝日を含めた公園のトリロールも含め、適切な維持管理を行った。	指定管理者との綿密な協議のもと維持管理を継続し、全ての市立公園を週1回以上定期的に巡回することにより、予防的な観点での維持管理につながっている。	A				A	A		
121	2		121-2	新たな公園等の整備	優先的に整備が必要な小長久保公園、三楽公園、梶野公園及び（仮称）東小金井駅土地区画整理事業1号公園を整備する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		三楽公園、東山公園及び梶野公園の3公園にて、インクルーシブデザインに配慮した遊び場、菜園及び子どもの居場所の整備工事を行った。	三楽公園、東山公園及び梶野公園に係る関係団体、公園周辺の隣接地権者等、丁寧な調整のうえ、整備工事を実施した。	A				A	A		
121	3	重複	121-3	指定管理者制度等の民間活力導入	都市公園の魅力向上のため、指定管理者と連携し、市民協働を推進する。	環境政策課	検討	実施	検討	検討	検討	継続	継続	A		指定管理者と連携し、関係団体と協議の場や意見交換会を実施し、更に他市視察やイベントを通じ、市民協働を推進した。	市内事業者や環境美化サポーター、障害者団体等各関係団体と協議の場を設け、各種事業実施にあっても綿密に連携を図った。	A				A	A		
121	4		121-4	低未利用公園等の整理	利用者の少ない公園等について土地利用転換を含めた有効な利活用について検討をする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		毎年同時期に、全庁的な低未利用公園の活用意向調査を行い、ヒアリングを実施した。	公園周辺の自治会や隣接地権者への丁寧な説明を重ね、合意形成を図る必要がある。	A				A	A		
121	5	重複	121-5	小・中学校の運動場芝生維持管理	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を進める。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を行った。	ボランティアの参画による地域連携と芝生を活かした教育活動に貢献している。	A				A	A		
121	6	重複	312-4	学校花壇・農園・ビオトープ等の維持管理	学校花壇・農園・ビオトープ等の適正な維持管理に努める。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		学校花壇や農園、ビオトープ等の適正な維持管理	児童・生徒を取り巻く環境が整備された。	A				A	A		
121	7		121-7	公共施設の建設・改修工事における緑化	公共施設の建設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続	C	建設完了したため	20%以上の緑化を実施	敷地の20%以上の緑化を実施している	C	建設完了したため			A	A		
121	7		121-7	公共施設の建設・改修工事における緑化	公共施設の建設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課								A			推進中	A				A	A		
122. みどりのまちなみの創出																									
122	1		122-1	環境配慮基準の見直し（屋上緑化・壁面緑化等）	環境配慮基準の1.緑を守り育てるに関する規定を見直し、屋上緑化、壁面緑化も緑化面積に含めることを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境配慮基準の見直しについて検討した。	-	A				A	A		
122	2		122-2	緑化指導に関する規定の制定	新たに緑化指導に関する規定を制定し、指定開発事業に該当しない規模の建築行為に対しても緑化指導を行う。	環境政策課	制定・運用	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		緑化等指導基準を策定し、令和4年度から適用を開始し、市ホームページにて周知を行った。	周知が広がり、令和7年度は26件の緑化に係る申請があった。	A				A	A		
122	3	重複	111-3	生け垣造成奨励金交付制度	道路に面して新たに生け垣をつくる場合に費用の一部を助成する。制度の適用対象を拡大し、より活用しやすい制度とする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申請に係る多い問合せ及び様式について、ホームページにて掲載内容を更新かつアップロードできるようにした。（新規造成3件）	ホームページにより効果的に情報発信に努め、例年より問合せ件数及び新規造成件数が増えた。	A				A	A		
122	4		122-4	緑化の手引きの作成	事業者・市民に向けた「緑化の手引き」を作成し、緑化手法や維持管理に関する技術等の情報提供を行う。	環境政策課	作成・運用	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		市報・ホームページ、市役所窓口にて周知した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A				A	A		

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）						毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」：「継続」「検討」「完了」※「市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実施報告書（様式2）の記入が必要（別シート参照）」						当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価		
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）	A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了		左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答					
XYZ	N		XYZ-N																							
122	5		122-5	街路樹の管理	都市計画道路の整備に当たっては、歩道に植樹等を取り、街路樹を植栽する。景観形成機能や生き物の生息空間等の創出機能にも配慮し、適切な管理を進める。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		街路樹の適切な維持管理を行った。		必要に応じて補植を行っている。	A				A	A		
130 みどりはぐくむ市民活動の促進																										
131 みどりを知り、楽しむ機会の創出																										
131	1		131-1	みどりに関する情報発信	みどりの基本計画、みどりの実態調査、ガーデニングや緑化の事例、支援制度、ボランティア活動等、みどりに関する情報発信を充実する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		公園ボランティアの協力により公園の花壇植え替えイベントを3回、たね園イベントを6回またボランティア養成講座を、市街等周知のうえ実施した。		支援制度の周知により、新たなメンバーの加入や1団体の環境美化サポーターの登録があった。	A				A	A		
131	2	重複	131-2	専門機関によるみどり調査	みどりの基本計画策定時期にあわせ、定期的に専門機関による調査を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		みどりの基本計画中間見直しのため、小金井市の環境、みどりに関する市民アンケート調査、みどり車調査、国・東京都の緑化施策の動向等、政策動向の整理を含めたみどりを抱くべく情勢を分析を行った。		調査結果を含めた内容をまとめ、「令和7年度小金井市みどりの基本計画中間見直し報告書」として、緑地保全対策推進会での議決を重ね、成果物としてホームページにて掲載した。	A				A	A		
131	3		131-3	環境学習の充実	小中学生や子育て世代などを対象とした環境学習の充実を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		・子ども環境ワークショップ（対象：乳幼児から小学生低学年） ・環境講座「小金井の地下水を学ぶ」（対象：小学生） ・森林教育事業（対象：中学生）等、様々な環境学習機会を創出した。		乳幼児から中学生まで、様々な年齢、学年を対象とした環境学習の場を提供することで、環境啓発意識を醸成することができた。	A				A	A		
132 協働による活動の推進																										
132	1	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たに1団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会や意見交換会も定期的に、新規ボランティアとサポーター同士の横のつながりを作るためにボランティア養成講座を実施した。（環境美化サポーター数（公園）317名）		活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。	A				A	A		
132	2		132-2	花壇ボランティア・町定ボランティアへの支援	花壇ボランティアや町定ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。また、スキルアップの為、講座形式でみどりの知識や管理など技術を習得できる仕組みを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		技術向上を図るために、専門家による公園花壇へのボランティア養成講座を実施した。		活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。	A				A	A		
132	3		132-3	公園サポーター会議設置の検討	裾野公園サポーター会議をモデルに、地域住民が管理するモデル公園の選定、公園サポーター会議の設置を検討する。	環境政策課	検討	拡大	検討	検討	継続	継続	継続	A		公園花壇ボランティアの活動と協働し、親子で参加できる公園花壇植え替えイベントを3回に加え、今年度からたね園イベントも6回実施した。		日頃利用している公園花壇での植え替え体験により公園の愛着を高め、また身近なみどりを大切に育てようとする気持ちの醸成することができた。	A				A	A		
132	4		132-4	気軽に参加できるボランティア制度の検討	子育て世代や子どもが空いた時間に気軽に参加できるボランティア制度の導入を検討する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		公園花壇ボランティアの活動と協働し、親子で参加できる公園花壇植え替えイベントを3回に加え、今年度からたね園イベントも6回実施した。		日頃利用している公園花壇での植え替え体験により公園の愛着を高め、また身近なみどりを大切に育てようとする気持ちの醸成することができた。	A				A	A		
132	5		132-5	みどりに関する新たな導入確保	みどりに関する募金等、新たな導入確保につながる仕組みづくりを検討する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		各イベント実施時に合わせてみどりの募金と呼び掛けた。		今後も新たな導入の確保に向けた検討をする。	A				A	A		
200 地下水・湧水・河川の水循環を回復する																										
210 地下水・湧水の保全																										
211 地下水・湧水等のモニタリング																										
211	1		211-1	水質監視測定	市内井戸の水質測定を行い、地下水保全会議等を通じて結果を分析・公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		報告書をホームページに掲載した。		調査結果に異常は見られなかった。	A				A	A		
211	2	重複	211-2	湧水調査	市内の湧水調査（水質調査、底生生物調査、付着藻類調査）を行い公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		報告書をホームページに掲載した。		調査結果に異常は見られなかった。	A				A	A		
211	3		211-3	湧水測定見学会等	湧水測定の見学会等を行う。	環境政策課	準備検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		環境講座「小金井の地下水を学ぶ」内で湧水の水質、水温等を測定した。		普段経験することができない水質、水温等の測定を講座内で体験することができた。（国土交通省「水の日」関連事業として実施）	A				A	A		

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄							計画に対する評価		実績（効果）に対する評価		
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」：「継続」「検討」「完了」※市内環境でマネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の検定及び環境報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価		
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答				
XYZ	N		XYZ-N																						
211	4		211-4	地下水位測定	市の管理する井戸または所有者に許可を得た井戸について水位測定を行う。	環境政策課	準備検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	D	実施検討中	自動記録計については、故障等によるメンテナンス費用がかかること、委託事業で地下水位測定を行っていることから、検討した結果、自動記録計設置の導入を見送ることとした。	-	C				C	-（その他）		
212.住宅地等における雨水浸透の促進																									
212	1	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	相談は受けたが、申請には至らなかったため。	相談件数2件、申請件数0件	設置の相談を受けたが、助成のタイミングと工事スケジュールが合わず、申請に至らなかった。引き続き市報やホームページで周知を図る。	A				B	B		
212	2		212-2	雨水浸透ます設置工事	道路上に雨水浸透ますを設置することにより、下水管きよへの雨水流入を抑制する。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		雨水浸透ます設置 33箇所	下水道管に流入する雨水量の削減	A				A	A		
212	3		212-3	歩道における透水性舗装	歩道舗装を透水性舗装にすることで、道路雨水の浸透を促進する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市道第1号線の歩道舗装3.4mを透水性アスファルト舗装に変更した。	-	A				A	A		
213.開発事業等における地下水への影響の未然防止																									
213	1		213-1	環境配慮計画書	開発工事事業者・市民等に地下水保全条例の周知を継続する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		開発工事事業者から事前相談があった際には、条例を周知した。	条例を周知することができた。	A				A	A		
213	2		213-2	地下水保全会議の開催	開発事業等による地下水への影響について、ボーリング調査データ等から状況を把握するとともに、提出された書類に基づき地下水保全会議の意見を聴き、必要に応じて地下水への配慮を求める通知を行うなどして影響の未然防止に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		地下水影響工事の届出 0件	-	A				A	-（評価になじまない）		
214.崖線をはじめ湧水源となるみどりの保全																									
214	1		214-1	国分寺崖線のみどりの保全	国分寺崖線斜面及び周辺部のみどりを保全緑地制度等で守る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		保全緑地制度を活用し、民有地の国分寺崖線上のみどりを環境緑地として41,101.83㎡を保全している。（環境緑地全体は46152.16㎡）	引き続きみどりの軸として保全に努める。	A				A	A		
214	2		214-2	遡流域でのイベント開催	特別緑地保全地区に指定されている遡流域で、市民がみどりの大切さを理解するきっかけとなるようイベント開催等を通じて周知に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		近隣市との共同で行われるスタンプラリーへ参加したり、市内中学生が作成した園内案内板等を設置し、また指定管理者による各種イベントを実施し、ホームページ等で周知すること、当該緑地の更なる周知を行った。	遡流域環境緑地を知ってもらう機会とし、また、来園いただく機会となった。	A				A	A		
214	3	重複	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の運営を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		野川第一・第二調整池自然再生協議会に参加した。	-	A				A	-（評価になじまない）		
220.河川環境の保全																									
221.水質汚濁の発生防止																									
221	1		221-1	下水道法による水質規制	法等に基づく排水の監視及び立入検査を実施する。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		法令に基づく排水の監視及び立入検査を実施。	法令に基づく排水の監視及び立入検査では、問題ない。	A				A	A		
221	2	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		相談件数2件、申請件数0件	設置の相談を受けたが、助成のタイミングと工事スケジュールが合わず、申請に至らなかった。引き続き市報やホームページで周知を図る。	A				B	B		
221	3	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		「野川環境フィールドワーク」内の散策清掃ワークショップで実施した。	42名が参加し、外来植物を学びながら駆除をすることができた。	A				A	A		
222.水辺に親しめる機会の充実																									
222	1	重複	011-3	野川フィールドワークの実施	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		6月7日に「野川環境フィールドワーク」として実施 延べ80人の方が参加された。	野川をフィールドワークに植物および生き物の探集・観察会、清掃活動を通じて野川流域の環境保全を考えていた日になるイベントとなった。	A				A	A		
223.流域単位での他自治体等との連携																									
223	1		223-1	野川流域連絡会への参加	野川流域連絡会（事務局：東京都建設局）へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		野川流域の環境に係る啓発や整備等に関する協議を行った。	-	A				A	-（評価になじまない）		

体系No.				事業や取組の概要				実施計画		実施計画年次（前期）						毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」・「継続」・「検討」・「完了」※「年内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の決定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）」						当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価			
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）	A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了		左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答						
XYZ	N		XYZ-N																								
223	2		223-2	野川流域環境保全協議会への参加	6市区（本市、国分寺市、三鷹市、調布市、狛江市、世田谷区）で構成される野川流域環境保全協議会へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		会議に参加し、情報収集を行った。	-	A				A		-（評価になじまない）			
223	3		223-3	多摩川流域協議会への参加	3都県30市区町村で構成される多摩川流域協議会へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		会議に参加し、情報収集を行った。	-	A				A		-（評価になじまない）			
230. 水資源の有効利用																											
231. 日常生活における雨水利用や節水の推進																											
231	1	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		3基に補助金を交付した。	-	A				A		A			
231	2		231-2	節水行動の啓発	環境行動指針の啓発などを通じ節水意識の向上と実践に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境行動指針の公開、配布及び雨水貯留施設の設置促進により節水意識の向上に努める。	-	A				A		-（その他）			
231	3		231-3	雨水利用に関する情報発信	雨水利用に関する関連情報をホームページに掲載する。	環境政策課	継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A		引き続き、パンフレット「雨水活用のススメ」をホームページに掲載している。また、雨水タンクの設置費補助金をHPだけでなく、市公式LINEなどでも周知し、雨水利用に対して情報発信を行った。	-	A				A		-（その他）			
231	4		231-4	雨水利用に関する外部との情報交流	雨水利用の現状やトレンドを把握するため、外部との情報交流を行う。	環境政策課	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続	A		情報収集を行った。	-	A				A		-（評価になじまない）			
232. 災害時における水資源の活用																											
232	1	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		3基に補助金を交付した。	-	A				A		A			
232	2		232-2	非常災害用井戸の管理	非常災害用井戸を適正に設置・管理する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和8年3月に保守点検を実施	水質検査の結果、国で定めた水質基準に適合していることを確認した。	A		A		A		A			
232	3		232-3	震災対策用井戸の管理	震災対策用井戸を適正に管理する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和8年2月に水質検査（36件）を実施	修理が必要な井戸については、市補助金（上限5万円）を支給しているが、費用が多額で所有者個人での修繕が困難になると、協定を解除せざるを得ないことが想定される。	A		A		A		A			
300. 都市の生物多様性を守り創しむ																											
310. 生物多様性の保全																											
311. 生物多様性に関する実態の把握																											
311	1	重複	211-2	湧水調査	市内の湧水調査（水質調査、底生生物調査、付着藻類調査）を行い公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A				A		A			
311	2	重複	311-2	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の情報を整理し、共有する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		令和7年度実施の野川環境フィールドワーク実施状況をホームページに掲載した。	-	A				A		A			
312. 生き物の生態・生育環境の保全・創出																											
312	1		312-1	公園等における樹木の選定	「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」に照り、公園内の樹木を新たに植樹する際には在来種から選定し、生物多様性の確保のため、実のなる樹木を植樹していく。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		在来種であるオオムラサキツツジ等を8公園で合計36株植栽した。	生物多様性を保持するために、新たな樹樹候補地を国分寺産緑沿いの公園を中心に検討する。	A				A		A			
312	2	重複	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の運営を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		野川第一・第二調整池自然再生協議会に参加した。	-	A				A		-（評価になじまない）			
312	3		312-3	緑化指導における在来種導入	指定開発事業に対する緑化指導の際に、都美定の「植栽時における在来種選定ガイドライン」を参考にし、在来種の導入など生態系に配慮した緑化を働きかける。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		緑化指導に際し、都美定の「植栽時における在来種選定ガイドライン」や市美定の「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」に照り、在来種からの選定を指導した。	「植栽時における在来種選定ガイドライン」や「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」にある具体的な在来種を中心とした植栽計画が立てられた。ナツ楡となる樹種は選けた計画にすることができた。	A				A		A			
312	4	重複	312-4	学校ビオトープ等の維持管理	学校花壇・農園・ビオトープ等の適正な維持管理に努める。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		学校花壇や農園、ビオトープ等の適正な維持管理	児童・生徒を取り巻く環境が整備された。	A				A		A			
313. 外来種対策の推進																											

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄							計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」※「市内環境マネジメントシステム」上、実施計画表（様式1）の決定及び「環境報告書（様式4）」の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達成 C…未実施	実績（効果）に対する評価	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答			
XYZ	N		XYZ-N																					
322	7		322-7	自然観察会等の情報発信	市民団体主催の自然観察会や生き物調査等の開催情報を市ホームページやSNSで発信する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市報に掲載するほか、公民館などにチラシを配布する等情報発信に努めた。	-	A				A	-（その他）		
400.安全・安心で健康に暮らせる生活環境を守る																								
410.大気汚染や騒音などの公害発生防止対策																								
411.事業活動等における公害の発生防止																								
411	1		411-1	公害関係法令に基づく規制・指導	大気汚染防止法、騒音規制法、東京都環境確保条例など公害関係法令等に基づく規制や指導を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	法令等に基づき対応した。	公害のない環境の創出	A				A	A		
411	2		411-2	小口事業資金融資あっせん制度における特別整備資金	小金井市小口事業資金融資あっせん制度により、特別整備資金のあっせんを行い、特定金融機関から融資を受けた際の利子及び保証料の一部を補助する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	日々の運転資金や設備投資用の設備資金を利用する事業者が多いことが要因と考えられる。	0件	当該融資メニューの周知を回る。	B	市施策ではあるが制度としては残し活動を促進するため		B	B		
411	3		411-3	アスベスト排出等作業実施届出受付	アスベスト排出等作業実施届出受付（2000㎡以下）と現場立会いをする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	法令等に基づき対応した。	大気汚染防止法届出：2件	A				A	A		
411	4		411-4	土壌・地下水汚染対策の啓発	土壌・地下水汚染対策について、事業所等に啓発する。ホームページやパンフレット等による情報提供を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	パンフレット等による周知	-	A				A	A		
412.自動車由来の騒音や排気ガス等の低減																								
412	1	重複	721-1	小金井市コミュニティバス運行事業（及び同再編事業）	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）を運行する。また、運行ルートの見直しを含めた総合的な検証を行う。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	・地域公共交通活性化協議会4回開催 ・交通ネットワーク再編事業部会4回開催 ・地域懇談会2回、オープンハウス1回開催	・路線バスとCoCoバスを合わせた交通ネットワーク再編事業を推進した ・持続可能な運行を目指し、CoCoバス運賃改定の検討を行った ・地域公共交通計画（R7～R14年度）に基づき、施策・事業を実施した	A				A	A		
412	2	重複	721-2	自転車駐車場整備事業	JR中央本線の高架下を含む駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	新たな自転車駐車場整備はない	多くの民間から賃貸庫にて運営している中で、今後は恒久的に使用できる高架下などの自転車駐車場整備を進めていきたい。	A	A		B	B			
412	3		412-3	グリーン購入の推進	公用車の買い換えの際は、グリーン購入ガイドラインに基づき環境負荷の少ない車両を導入する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	車両購入なし、車両リース開始なし。	故障し廃車になった際は購入、リース予定。	A				C	-（評価になじまない）		
413.農薬・化学物質・その他の環境汚染物質対策																								
413	1		413-1	除草剤や殺虫剤の適正使用の周知	広報や市ホームページを通じて、除草剤や殺虫剤の適正使用を周知する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市報や市ホームページによる周知	-	A				A	A		
413	2		413-2	残留農薬検査	残留農薬検査に対し補助を行い、低農薬で安全な作物の生産を推奨する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■残留農薬検査件数：0件	ワリ科の作物の土壌検査の補助を実施しており、令和7年度の要望はなかった。	A				A	A		
413	3		413-3	化学物質に関する情報提供	PRTR制度（法）や化学物質適正管理制度（都条例）に基づき、化学物質取扱い事業所に対し使用量報告を求める。また、化学物質の環境リスクに関する情報をホームページ等により提供する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	法令等に基づき対応した。	都条例に基づく届出：12件 市条例に基づく届出：3件	A				A	A		
413	4		413-4	シックハウス状況調査	公共施設（市立保育園）における机・椅子・コンピュータ等の備品購入の際、必要に応じてシックハウス状況の調査測定を行う。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	冷暖房機、掃除機、冷蔵庫等の購入	購入の際、シックハウスの原因となる「ホルムアルデヒド」をはじめとした有害物質をまったく使用していないか、F☆☆☆☆等級の資材を使用した商品であることを確認した。	A				A	A		
413	5		413-5	シックハウス状況調査	市立小・中学校における机・椅子・コンピュータ等の備品購入の際、必要に応じてシックハウス状況の調査測定を行う。	学務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	教室等空気環境衛生検査測定を小学校2校、中学校1校にて実施した。	教室内の環境が基準値内であることが確認できた。	A				A	A		
413	6		413-6	空間放射線量の測定	認可保育園、幼稚園等における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	空間放射線量の測定	問題のある線量は測定されず。測定結果を市ホームページにて公表。	A				A	A		
413	7		413-7	空間放射線量の測定	児童館・学童保育所における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	児童青少年課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	-	令和7年12月に児童館・学童保育所を対象に実施。	A				A	A		

体系No.				事業や取組の概要				実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄							計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実迄」「継続」「検討」「完了」※「市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の検定及び環境報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）」					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価		
							前期5年間の（R3～7年度）	後期5年間の（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より異同・相談	所管課回答				
XYZ	N		XYZ-N																						
413	8		413-8	空間放射線量の測定	市立小中学校における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		8月に小・中学校（全14校）の測定実施及び結果公表を行った。	安心安全な学校環境の整備のための状況把握。	A				A		A	
413	9		413-9	給食用食材の放射能測定	給食用食材に含まれる放射性物質の測定を行い、測定結果を市ホームページで公表する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		小中学校280件、保育園282件の検査結果を市ホームページより公表した。	市ホームページでの測定結果更新作業については、保育課及び学務課が対応し、広く周知することができた。	A		A		A		A	
413	10		413-10	食品の放射能測定	希望する市民に対し、食品の放射能測定を、小金井市放射能測定器運営連絡協議会との協働で実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		測定件数47件（一般市民）	測定を実施するにあたり協議会の人員的体制が取りつづい状況が継続している。	A				A		A	
413	11		413-11	放射線量測定器の貸出	空間放射線量を測るための簡易測定器を希望する市民へ貸し出す。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		希望者に貸し出し、	令和7年度：1件	A				A		A	
420 環境のモニタリングやコミュニケーション																									
421 大気汚染や騒音などの継続的な環境モニタリングと情報発信																									
421	1		421-1	ダイオキシン類に係る大気環境調査	大気中のダイオキシン類の調査を毎年実施し、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		夏季・冬季にそれぞれ2カ所で測定。	いずれも環境基準値以下。	A				A		A	
421	2		421-2	住宅や沿道における二酸化窒素の測定	住宅地や交差点において、自動車排気ガスに由来する二酸化窒素濃度を測定（簡易測定法）し、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市内50カ所で測定。	いずれも環境基準値以下。	A				A		A	
421	3		421-3	大気中の浮遊粒子状物質の測定	大気中の浮遊粒子状物質の調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市内2カ所で測定。	いずれも環境基準値以下。	A				A		A	
421	4		421-4	沿道における騒音・振動調査	市内の沿道において、騒音・振動調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		6本の都道で騒音及び振動を測定。	いずれも要請限度以下。	A				A		A	
421	5	重複	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報を記載した環境報告書を毎年公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度版を作成・公表した。	第3次環境基本計画に合わせた改訂を実施した。	A				A		A	
422 安全・安心のための話し合いやルールづくり																									
422	1		422-1	苦情処理・相談への対応能力開発	国・都等の研修制度を利用し、苦情処理・相談に対する対応方法等の向上を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		東京都が実施する研修等に参加した。	－	A				A		A	
500 美しく住み心地のよいまちを守る																									
510 景観の保全・活用																									
511 景観保全・創出に係る取組の実施																									
511	1		511-1	地区まちづくりの推進	「小金井市まちづくり条例」に規定される、地区まちづくり計画及び協議会、テーマ型まちづくり、地区計画、建築協定等のしくみが活用されるよう、周知や各種支援を行う。	まちづくり推進課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		数値実績なし		A				A		B	
512 景観資源を活用する取組の充実																									
512	1		512-1	小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会	「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会」を開催する。委員会の意見を踏まえ、玉川上水及びその周辺環境を保全する。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		3回実施	サクラの補植計画の検討、草本環境の再生状況を確認した	A				A			
512	2		512-2	玉川上水・小金井桜整備活用事業（補定：東京都と連携）	「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用計画」、「史跡玉川上水整備活用計画」（東京都）に基づき、サクラ並木の再生を進める。また、歴史的遺産として、まちの魅力向上に向け、積極的に市内外にPRする。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		ヤマザクラ15本補植。文化財説明板1基設置	橋補修工事を機に散策拠点を整備した	A				A			
512	3		512-3	まちなか観光案内	市民ボランティアガイドの協力を得て行うまちなか観光案内、市内の観光スポットをテーマ別に結んだ「小金井まち歩きマップ」の作成等、小金井観光まちおし協会が行う取組を支援する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		募集ツアー8回 リクエストツアー3回	募集ツアーの定員を倍に増やしたことで、参加者が増加した。	A				A		A	
512	4		512-4	重要な文化遺産の保護・活用	重要な文化遺産は、文化財に指定し保護・活用を図る。また、情報発信として文化財センターの他、まちが歴史ミュージアム事業を展開する。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		小平市と連携した史跡めぐりを実施		A				A			
520 美しいまちなみの維持																									
521 美しいまちなみの維持																									
521	1		521-1	定期的なパトロールの実施等	定期的なパトロールを実施し、不法投棄厳禁・ポイ捨て禁止等の啓発看板を設置する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		不法投棄やポイ捨ての多い箇所へのパトロールを実施し、市民に対しては各種啓発看板を配布した。 路上禁煙地区については、清掃活動の実施及び路面標示の貼り替え等を行った。	パトロールや啓発活動で防止の対策を取っているが、不法投棄やポイ捨ては個人のマナーに帰属するところが多いため、市内全域で完全に撲滅することは難しい。	A				A		A	
521	2		521-2	屋外広告物のマナーの向上に関するパンフレット	屋外広告物のマナーの向上に関するパンフレットを作成し配布する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		違反処理による除却枚数：はり紙570枚、はり札等0枚、広告旗0本、立看板等2枚	引き続き、違反屋外広告物の除去及び指導を行っていく。	A				A		A	

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）						毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	実施毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」※庁内環境でマネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）						当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおり達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価		
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）	A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了		左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答					
XYZ	N		XYZ-N																							
521	3	重複	521-3	環境美化サポーター制度（道路）	小金井市環境美化サポーター制度実施要綱による環境美化サポーター制度や趣旨向上を図る。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		団体及び個人により市道等の清掃が行われている。会員数は70名。市民との協働による環境美化活動を推進した。	引き続き、制度の周知・啓発を行っていく。	A				A	A			
521	4	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たに1団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会や意見交換会も定期的に行い、新規ボランティアとサポーター同士の機種のつながりを作るためにボランティア養成講座を実施した。（環境美化サポーター数（公園）317名）	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。	A				A	A			
521	5		521-5	放置自転車撤去事業	公道にある放置自転車等を継続的に撤去し、駐車秩序の確立を図り、良好な都市環境を保持する。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		撤去台数：627台	撤去台数が減少してきており、良好な都市環境を保持できている。	A				A	A			
522_まちの魅力向上																										
522	1	重複	111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定するとともに、制度について分かりやすく周知を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年度にみどりの基本計画の中間見直し評価を行い、市報及びホームページ以外の周知として、市政だよりにて周知した。（保存樹木 931本）	従前からの市報及びホームページでの周知に加え、市政だよりやイベント時のチラシ配布等により更なる情報発信に努めた。	A				A	A			
522	-		-	-	（上記を含め、基本目標2に示した緑化の推進に関する取組が該当する。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
600_3R推進で環境財のまちをつくる																										
610_発生抑制を最優先とした3Rの推進																										
611_日常生活における3Rの徹底																										
611	1	重複	611-1	食育ホームページ	食と環境（地産地消）について考えてもらうためのサイト「食育ホームページ」を、ボランティアからなる食育ホームページ編集委員会が作成・更新する。	健康課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		数値実績なし	小金井産の野菜を使用したレシピを季節に合わせて掲載している。	A				A	A			
611	2		611-2	生ごみ減量化処理機器購入費補助制度	生ごみ減量化処理機器を購入する家庭、団体、事業所に対し、購入費の一部を補助する。市報、市ホームページ等により制度を広く周知する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		R7年度実績 198件（電動式183件、手動式2件、コンポスト13件）	昨年度よりは20件ほど減の実績であったが、転入者を中心に生ごみ処理機の申請が依然として高い状況である。	A				A	A			
611	3		611-3	不用品交換コーナー	家庭で使わなくなった物を譲りたい方、譲ってほしい方に利用してもらうための「不用品交換コーナー」（第二庁舎4階）の活用を市報等で周知する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		47件	申請件数は一定数あるものの、掲示期限を過ぎて成立に至らないケースも散見される。より効果的な周知方法の検討が課題。	A				A	A			
611	4		611-4	小金井市消費者団体連絡協議会の支援	小金井市消費者団体連絡協議会が行う「リサイクルバザー」、おもちゃの病院、食器リサイクル」の取組を支援する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		食器回収：-260.7kg 食器リユース市：-111人 （R5年度をもっともちの病院は脱退済み）	今後も継続して市報・HP等で広く周知していく。	A				A	A			
611	5		611-5	生ごみ堆肥化事業	大型の電動生ごみ処理機を市内小・中学校、保育園、集合住宅等に設置し、投入された生ごみを電動生ごみ処理機で乾燥処理した後、民間堆肥化製造施設で完熟堆肥化する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		一部市施設や集合住宅、各家庭の電動生ごみ処理機で生成された生ごみ乾燥物の回収を行い、生ごみ乾燥物から製造された堆肥を24,635kg購入した。	一部市施設に電動生ごみ処理機を設置しており、投入後の生ごみ乾燥物を民間堆肥化製造施設へ運搬し堆肥化を行った。各小・中学校や保育園については、電気を使用しない等の観点から電動生ごみ処理機を撤去し、生ごみを直接民間堆肥化製造施設へ運搬し堆肥化を行った。	C				B	B			
611	6		611-6	剪定枝の（公園緑地）	公園緑地で剪定された枝葉を再資源化する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		枝葉の処分については、再資源化施設に搬出し、チップ材、堆肥原料等に活用している。	再資源化施設への搬出やチップ材等への方法に限らず、マルチング材としての利用や防風柵として、また公園敷地内や菜園の支柱、冬場の植物の防寒カバー、燃料としての活用等活用していく。	A				A	A			
611	7		611-7	緑のリサイクル（街路樹）	街路樹の管理委託業者に、発生した枝葉等のリサイクル（チップ化等）に努めるように指示する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		実績：130.3 t	引き続き、管理委託業者に対して、落枝等を再利用できる施設へ搬入するよう指導していく。	A				A	A			
611	8		611-8	剪定枝・落葉・雑草を堆肥化	市立小・中学校において、剪定枝・落葉・雑草を堆肥化し畑や花壇に利用するとともに、燃やすごみを減量する。	学務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		剪定したものを枝木収集によりリサイクルをしている。大枝については、請負業者がリサイクルしている。	剪定したもののリサイクル化を行い、ごみの減量につなげることができた。	A				A	A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）							毎年の進捗管理における記入欄							計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	実施例の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実並」「継続」「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の決定及び内容確認調査（様式4）の記入が必要（別シート参照）							当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）	A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）		環境政策課より質問・相談	所管課回答					
XYZ	N		XYZ-N																							
611	9		611-9	男定校・落葉・雑草を堆肥化	市立保育園において、男定校・落葉・雑草を堆肥化し燃やすごみを減量する。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		廃棄物減量	落葉等を資源物回収に出し、堆肥化している。	A					A	A		
612 分別・減量を徹底する啓発活動の強化																										
612	1		612-1	清掃指導員（市職員）による分別指導	清掃指導員（市職員）による分別指導を強化する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市民からの要望等があった際に随時清掃指導員を派遣し、分別相談及び指導を行った。	現場で指導員が現物確認することにより、より具体的に適切な指導を行うことができた。	A					A	A		
612	2	重複	612-2	市報でのごみ減量・リサイクル特集記事	市報にごみ減量・リサイクル特集」を掲載する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報にごみ減量・リサイクル特集」を年3回（7月、12月、3月）掲載し、各種イベント情報や正しい分別方法の周知、ごみ減量の啓発を図る。	毎年転入者が多いこと並びに季節ごとに合わせてごみに関連したトピックが多いため、繰り返しの周知や啓発を行うことが必要となる。	A								
612	3		612-3	ごみ減量キャンペーン	ごみ減量キャンペーンとして、各種イベントや街頭での呼びかけ、啓発グッズ作成・配布等を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年度より環境学習ワークショップ・講演会を野川クリーンセンターまたはメタウォーターサステナブルパークがメインにて毎月1回ずつ実施し、市内在住の小学生を中心に未就学児から大人の方までものづくりを通して、資源循環・3Rの大切さの周知・啓発を図った。	野川クリーンセンターの認知度向上を図るとともにXやLINE等市公式SNSを活用した継続的な参加者募集を図り、体調不良によるキャンセルを除き各イベントごと満員御礼となった。リーダーも多くなってきたことから、今後はより多くの方が参加しやすい日時の設定等について検討し、より効果的なごみ減量に関する周知啓発を図る。	A								
612	4		612-4	ごみ・リサイクルカレンダーの発行	ごみ・リサイクルカレンダーを全戸配布する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		全11地区、合計82,000部作製し、2月から3月に全戸配布をした。	前年度の配布状況などから各地区の作成部数の見直しを行い、全体では同数の部数を作製し、全戸配布を行った。	A				A	A			
612	5	重複	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	スマートフォンなどでごみの収集日や分別方法などを確認できるごみ分別アプリを配信する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		カレンダー等の広報にてごみ分別アプリの周知を行い、発生抑制を最優先とした3R（発生抑制、リユース、リサイクル）について情報提供することで、より多くの市民に啓発を行うことができた。	ごみ分別アプリダウンロード数 R5年度DL数：4,256件 R6年度DL数：4,675件 R7年度DL数：4,555件	A				A	A			
612	6	重複	612-6	くるか出張講座	市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説する出張講座を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		出張講座（6回）等で啓発活動を実施。（オンラインでの学習教材等提供で対応できるようにしたが、より充実していく必要がある。）	出張講座に際し使用する教材のデジタル化により、教育委員会への提供、HP掲載による周知効果の向上を図る。	A				A	A			
612	7		612-7	ごみ処理施設市民見学会	燃やすごみなどのように処理されているかを理解し、ごみ減量・分別の徹底を推進するため市民見学会を実施する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市民を対象とし、日野市所在の浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の見学を実施した。	今後も施設見学を継続し、市民への環境啓発等を図っていく。	A				A	A			
612	8	重複	612-8	リサイクル推進協力店認定制度	ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗を「リサイクル推進協力店」として認定し、市報や市ホームページ等を通じて積極的に紹介する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		ごみ・リサイクルカレンダーにて協力店の一覧を含め毎年周知を図っている。	近年、企業の責任として3Rに率先して取り組む事業所が増えていること。市内でもリユースショップ等が増える中で、リサイクル推進協力店の認定要件等についても見直しを検討する必要がある。	B	市内の店舗や事業者の中で、廃食油の拠点回収を始めた。衣類やおむつの拠点回収ボックスを設置する				A	A		
612	9		612-9	リユース食器の貸し出し	祭りやイベントで発生するごみ（使い捨て容器や割りばし）を減らすため、専門業者による洗浄により繰り返し使用できるリユース食器の貸出しを行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		18件（R6年度比+1件）	市内イベントの開催に際し、リユース食器を利用する団体が増加し、リユース食器の貸出件数も増加傾向となった。令和8年度当初の事業本格実施に向け、「小金井市リユース食器等の貸出し及び利用に関する要綱」の制定に	B	対象者の選定や目的に応じた適切なリユース食器等の利用を促すため。				A	A		
612	10		612-10	市内グリーン購入の推進	「小金井市グリーン購入方針」及び「同ガイドライン」に基づき市内のグリーン購入を行い、その実績をホームページで公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		実績をホームページに公表した。	市のグリーン購入の取組を周知できた。	A				A	A			
612	11		612-11	マイバッグキャンペーン	消費生活圏や消費者ルームまつり等において、啓発用グッズを配布し、マイバッグ持参を奨励する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	キャンペーンにはしていないが、消費者ルームまつり等において、マイバッグ持参を奨励した。			A				A	A			
613 事業活動における3Rの推進																										
613	1		613-1	排出状況調査等	事業所の排出状況調査及び分別等の指導を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		東京都環境公社による「3Rアドバイザー派遣事業」を活用し、「廃棄物の減量及び再利用に関する計画書事業実績報告書」の中で浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設へ納入している目付可燃ごみの排出量（特に紙ごみ）が増加している大規模事業所をピックアップし、大規模事業所「66件」、市施設「21件」のうち「7件」について、立入検査を実施した。	3Rアドバイザー事業を本年度実施した結果、市内大規模事業者に対して、廃食油の有償売却等の資源化ルート活用や備前品の取扱いに係る指導等、資源化率の改善、ごみの減量及び資源化促進に資する提案を行うことができ、市報での調査指導よりも効果的な事業とすることができた。	A				A	A			

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄							計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」 「継続」 「検討」 「完了」 ※市内環境でマネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の決定及び実施報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項		S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答			
XYZ	N		XYZ-N																					
613	2	重複	612-8	リサイクル推進協力店認定制度	ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗を「リサイクル推進協力店」として認定し、市報や市ホームページ等を通じて積極的に紹介する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	ごみ・リサイクルカレンダーにて協力店の一覧を含め毎年周知を図っている。	近年、企業の責任として3Rに率先して取り組む事業所が増えていること。市内でもエコショップ等が増えつつある中で、リサイクル推進協力店の認定要件等についても見直しを検討する必要がある。	B				A	A		
620_安全・安心・安定的な適正処理の推進																								
621_地域と連携した収集・運搬の推進																								
621	1	重複	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	スマートフォンなどでごみの収集日や分別方法などを確認できるごみ分別アプリを配信する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	カレンダー等の広報にてごみ分別アプリの周知を行い、発生抑制を最優先とした3R（発生抑制、リユース、リサイクル）について情報提供することで、より多くの市民に啓発を行うことができた。	ごみ分別アプリダウンロード数 R5年度DL数：4,256件 R6年度DL数：4,675件 R7年度DL数：4,555件	A				A	A		
621	2		621-2	環境負荷の少ないごみ収集車両への更新	ごみ収集車両の買い換えの際には、環境負荷の少ない車両を購入する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	直営の車両では導入実績は無いが、委託業者の車両については買い替えの際に環境負荷の少ない車両の導入を行っている。	ごみの収集についてはほとんどのごみが委託により収集を行っている。	A				A	A		
621	3		621-3	ふれあい収集事業	ごみ出しが困難な世帯（高齢者、障がいのある方等）を対象に、戸別訪問による家庭ごみの収集を行うとともに、安否確認も行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	申し込まれた世帯について、定期的にふれあい収集を実施した。	新型コロナウイルスの影響などにより対面の聞き取りがあまり出来ず、きめ細やかな対応が少し難しくなっている。	A				A	A		
622_適切な処理・処分の推進																								
622	1		622-1	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設（日野市内）において燃やすごみを焼却処理し、焼却灰はセメント原料としてリサイクル処理する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年度実績焼却残さ搬入量1,102t	—	A				A	A		
622	2		622-2	精製え保管施設・資源物処理施設の運営	精製え保管施設・資源物処理施設において、（不燃・粗大系、プラスチック・びん・缶・ペットボトル・布等）の資源化を進める。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年度資源化量1,482,700kg	令和7年度資源化量1,482,700kg 産業物処理による環境負荷を削減	A				A	A		
622	3		622-3	清掃関連施設整備事業	清掃関連施設整備基本計画に基づき、清掃関連施設（不燃・粗大系、プラスチック・びん・缶・ペットボトル・布等の資源物系）の整備を進める。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C	メタウォーターメナブルパークがぬい（小井金市資源物処理施設）が令和7年3月24日から本格稼働をもって本事業に参画した。	令和7年度資源化量3,303,986kg	令和7年度資源化量3,303,986kg 産業物処理による環境負荷を削減	A				A	A	
623_産業物処理を支える体制の確立																								
623	-		-	-	（基本目標6の各取組のほか、関係機関や事業者と情報共有、事業コスト管理、環境資金の有効活用等を通じて支える体制の確立・継続を図る）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
700_エネルギーを賢く使い、低炭素なまちをつくる																								
710_家庭・事業所における低炭素化の推進																								
711_建物の低炭素化の促進																								
711	1	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	計304件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A				A	A		
711	3		711-3	省エネ改修工事に伴う固定資産税の減額	一定の要件を満たす省エネ改修工事（熱損失防止改修工事）を行った住宅について、申告により翌年度分の固定資産税（家屋分）を減額する。	資産税課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	7件	住宅における熱損失防止改修工事の促進	A				A	—（その他）		
711	4		711-4	公共施設の低炭素化	公共施設の建設・改修工事において、省エネルギー性能の高い機器、太陽光発電等の再生可能エネルギー機器、雨水貯留施設等の設置を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		検討中	A				A	A		
712_機器・設備の低炭素化の促進																								

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」 「継続」 「検討」 「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の決定及び実施報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項			S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より異同・相談	所管課回答				
XYZ	N		XYZ-N																						
712	1	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		計304件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A				A	A		
712	3		712-3	フロン類の回収・処理についての情報提供	市民・事業者に対し、フロン類が適正に回収・処理されるようチラシ、パンフレット等による情報提供を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		カウンターへのチラシの設置やHPでの情報提供をした。	—	A				A	A		
712	4		712-4	公共施設における環境配慮施設等の設置	公共施設の整備に際して、環境に配慮した施設整備を促進するとともに、建替えや大規模改修の際には、太陽光発電・太陽熱温水器等の設置を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		検討中		A				A	A		
713_低炭素化につながる行動・活動の普及促進																									
713	1	重複	031-2	「小金井環境行動指針」の活用	「小金井市環境行動指針」を活用する。（市ホームページ、環境フォーラム等のイベント等）	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで配布した。	関心のある市民に手に取ってもらえる環境を整備できた。	A				A	A		
713	2		713-2	省エネチャレンジ事業	エネルギー消費の削減量に応じて商品券や商品との交換が可能なポイント制度を実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		家庭部門から100件の申し込みがあり、100件中71件の報告書が提出された。	一般家庭及び事業所に日頃のエネルギー使用について考え、省エネ行動に取り組んでもらうきっかけを提供できた。	A				A	A		
713	3		713-3	環境マネジメントシステム導入事業所に対する啓発措置	環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21等）を導入している事業所の促進措置を検討・拡大する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	C	次年度以降検討	未実施	未実施	B	-	-	-	-	—（その他）		
720_移動における低炭素化の推進																									
721_交通手段の転換の促進																									
721	1	重複	721-1	小金井市コミュニティバス運行事業（及び同再編事業）	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）を運行する。また、運行ルートの見直しを含めた総合的な検証を行う。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		・地域公共交通活性化協議会4回開催 ・交通ネットワーク再編事業部会4回開催 ・地域懇談会2回、オープンバス1回開催	・路線バスとCoCoバスを合わせた交通ネットワーク再編事業を推進した ・持続可能な運行を目指し、CoCoバス運賃改定を検討を行った。 ・地域公共交通計画（R7～R14年度）に基づき、施策・事業を実施した	A				A	A		
721	2	重複	721-2	自転車駐車場整備事業	JR中央本線の高架下を含む駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たな自転車駐車場整備はない	多くの民間から賛賛額にて運営している中で、今後は恒久的に使用できる高架下などの自転車駐車場整備を進めていきたい。	A				B	B		
721	3		721-3	シェアサイクルの普及推進	シェアサイクルの認知度向上を図るため、ホームページでの情報提供などを行います。	交通対策課		新規・継続						A		ステーション数：29カ所 チャック数：268個 利用回数：131,369回	協定締結以来、年々ステーション数、チャック数、利用回数が増加している。公共施設、学校、病院などに機連がけるとともに、コンビニ等の店舗にも広く設置を進めていくこと。	A				A	A		
722_自動車の低炭素化の促進																									
722	1		722-1	エコドライブの普及啓発	チラシ、パンフレット等によるエコドライブに関する普及啓発を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境政策課窓口にて配布した。	-	A				A	A		
722	2		722-2	次世代自動車普及促進補助金	次世代自動車購入を促進するため、補助制度を実施する	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A	令和4年度から次世代自動車普及促進補助金の交付を開始した。	予算額2,000千円を計上し、多くの申請をいただき、全額を早期に使い切ることができた。	電気自動車9件、プラグインハイブリッド自動車11件の計120件の申請があった。	A				A	A		
722	3		722-3	次世代自動車を利用しやすい環境づくり	公共施設の建設・改修工事の際は、急速充電設備の設置等、次世代自動車の利用しやすい環境づくりを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		ホームページなどで情報発信はしているが、次世代自動車の利用しやすい環境づくりの検討までには至っていない。	環境づくりの検討までには至っていないが、令和4年度から補助金の交付を始め、市民の方々の関心は高まってきている。	B				A	—（その他）		
730_気候変動適応の推進																									
731_気候変動適応に関する普及啓発																									
731	1		731-1	気候変動に関する情報発信	市のホームページや、広報紙、パンフレット等様々な媒体を通じて、気候変動による影響や適応の必要性、技術動向や国・都の政策、市民や事業者が実施可能な対策等に関する情報を発信する。 また、気候市民会議等を通して環境啓発意識の強化を図る。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A		市HPや環境フォーラムなどで情報発信を努めた。	環境フォーラム内で実施した気候変動に関する意識調査では想定以上の回答数があり、気候変動に対する市民の関心が高まっていることが見て取れた。	A				引き続き情報発信に努める。	A	A	
732_気候変動による影響の把握																									
732	1		732-1	気候変動による影響の把握	地域で起こっている気候変動による影響について把握に努める。水環境や自然生態系については、水質や水量、動植物の調査により変化の程度や内容を把握する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A		地下水保全会議で情報提供を呼び掛けた。また、水質等の報告書について報告した。	今後も、地下水保全会議等で情報収集に努める。	A				A	A		
733_暑熱対策の推進																									

体系No.				事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）							毎年の進捗管理における記入欄								計画に対する評価		実績（効果）に対する評価	
体系No.	施策毎の事業数	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」「継続」「検討」「完了」※庁内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の検定及び変更報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）						当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）		実施状況に対する評価		当該事業に関する協議事項			S…計画を超えて達成 A…計画どおりに達成 B…実施したが計画に未達 C…未実施	実績（効果）に対する評価	
							前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）		A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	環境政策課より質問・相談	所管課回答						
XYZ	N		XYZ-N																								
733	1	重複	121-5	小・中学校の運動場芝生維持管理	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を進める。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を行った。	ボランティアの参画による地域連携と芝生を活かした教育活動に貢献している。	A					A	A			
733	2		733-2	街なかでのクルースポット創出	まちなかや公共施設に、緑のカーテンやミストの設置などによるクルースポットの創出を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			検討中	A				A	A				
733	3		733-3	熱中症に関する注意喚起	熱中症について市ホームページを通じて情報提供を行うほか、熱中症警戒アラートといった情報配信サービスの活用等呼びかける。	健康課		新規・継続						A		熱中症警戒アラート発令無し。	熱中症について市ホームページを通じた情報提供を行った。熱中症警戒アラートといった情報配信サービスの活用等呼びかける。	A				A	A				
733	4		733-4	涼み処・クーリングシェルの創出・運営	公共施設、民間施設を涼み処・クーリングシェルトーとして暑さをしのげる場所として指定・設置し、市HP等で周知するなど、熱中症予防の普及啓発を推進する。	健康課		新規・継続						A		市内3 1カ所	公共施設、民間施設をクーリングシェルトー・涼み処として暑さをしのげる場所として指定・設置し、市HP等で周知するなど、熱中症予防の普及啓発を推進した。	A				A	A				
734_災害対策の推進																											
734	1	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		相談件数2件、申請件数0件	設置の相談を受けたが、助成のタイミングと工事スケジュールが合わず、申請に至らなかった。引き続き市報やホームページで周知を図る。	A				B	B				
734	2		734-2	小金井市防災マップ等の作成公表	浸水予想区域図や土砂災害警戒区域の情報を掲載した「小金井市防災マップ」の作成・配布を行う。また、市ホームページで小金井市防災マップ、東京防災などの情報提供を行う。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		窓口やイベント等で配布を行った。	防災マップは媒体の性質上、最新の情報を反映させることが困難であるので、市ホームページ・X等で補完していく必要がある。東京防災についても市ホームページで周知をした。	A		A		A	A				
734	3		734-3	防災に関する意識啓発	（気候変動による災害リスクの高まりを踏まえ、）防災イベントや講座の実施、防災マップのほか、広報紙や市HP、SNS等の活用により、市民・事業所向けに情報発信・啓発を行う。	地域安全課		新規・継続						D	令和8年度から実施												
734	3	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		計304件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A				A	A				